



いろは呑龍新聞

2020年(令和2年)5月号
第53号

和井川接続施設と五間堀川5接続施設 トンネル接続が完了しました！

京都府では、豪雨などで急激に増水した河川水をいろは呑龍トンネル本管に流入させるための施設として、向日市上植野町において“和井川(わいがわ)接続施設”、長岡京市勝童寺において“五間堀川(ごけんぼりかわ)5接続施設”の整備を進めています。本号では、この2つの接続施設の工事進捗状況について紹介します。

和井川接続施設 接続管きよ工事完成

向日市上植野浄水場の敷地内に整備した立坑から国道171号の地下約20mに位置する南幹線本管までの区間(延長約230m)において、内径2.2mの管きよを接続させる工事が今月完成しました。準備工事を含めると約1年1か月の期間を要しましたが、関係者の皆様にご理解とご協力をいただき、1日も早い浸水被害の解消に向けて工事に取り組むことができました。

引き続き、向日市が河川水を取り込むための施設を整備する予定となっています。



▲ 完成した管きよ内部



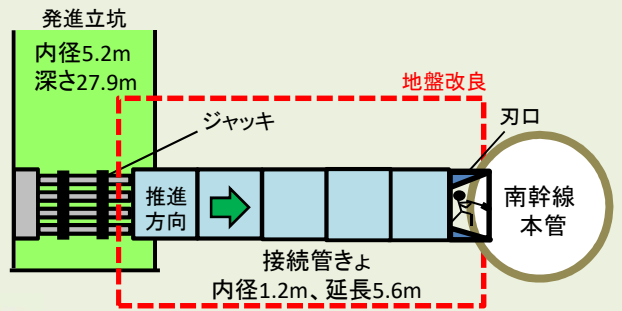
▲ 南幹線本管との接続部

五間堀川5接続施設 接続管きよが南幹線に到達

五間堀川5接続施設工事は令和元年10月から工事を実施しており、今月、立坑から約5.6m先の南幹線本管に接続管(内径1.2m)が到達しました。

本工事では、地中を掘り進む推進工法の中でも、坑内で作業員が直接地盤を掘削する“刃口(はぐち)推進工法”を採用しました。掘削箇所は事前に地盤改良を行っており、地山の崩壊を防止した上で、安全に作業することができました。

今後は、立坑内に雨水をスムーズに取り込むためのマンホール工事を実施します。



接続管内の狭いスペースで中腰の姿勢で掘削したんだ。



▲ 作業員による掘削状況



▲ 地下約25mの地盤状況



▲ 南幹線本管接続完了